

科目名 Subject	ボディエステⅣ Body EstheticsⅣ		教員名	エステチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	3単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	90時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	◎	○
科目の概要	ボディエステティックⅠ、Ⅱ、Ⅲ、の内容を踏まえ、試験対応した採寸方法やボディ機器技術を習得し、トータルエステティック技術を向上させる。AEA試験に対応できるカウンセリングを学ぶことによって相モデルに適した技術を行う。				
授業の目標	AEA上級試験に向けたカウンセリングシート作成及びボディメイキングの為に正しい機器の選択ができるようになる。本科目を履修することにより、AEAの資格実技試験に対応したボディエステティック全般を習得する。フェイシャルエステⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳで学んだことを、AEA試験対策を行うことで熟練することができる。 高齢者モデルへの機器などの選択方法や対応などを理解し、施術することができる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で学んだことをモデルを使いながら復習する。なお、各回の復習には概ね60分～90分程度行い、次の授業の際に技術が戻らないように定着させておくこと。				
教科書・教材	教科書	日本エステティック協会テキスト			
	教材	ボディ用教材、講師作成資料			
	使用設備・備品	全身美容実習室			
	参考文献				
評価方法	平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む） 試験80%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。3回通しの授業である。 この科目はエステティック基礎理論Ⅲ、フェイシャルエステⅡ・Ⅲ、ボディエステⅡ・Ⅲの単位を取得しなければ履修できません。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	ボディカウンセリングシート 作成（ボディ機器含む）を学ぶ	マッサージとボディ機器の含めた カウンセリングシートを作成できる。	カウンセリングをスムーズに出来る よう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第2回	ボディカウンセリングシート 作成（ボディ機器含む）を学ぶ	マッサージとボディ機器の含めた カウンセリングシートを作成できる。	カウンセリングをスムーズに出来る よう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第3回	ボディカウンセリングシート 作成（ボディ機器含む）を学ぶ	マッサージとボディ機器の含めた カウンセリングシートを作成できる。	カウンセリングをスムーズに出来る よう機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第4回	ボディカウンセリングシート 作成（化粧品選定）を学ぶ	高齢者への機器や化粧品の選択ができる。	カウンセリングをスムーズに出来る よう高齢者への機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第5回	ボディカウンセリングシート 作成（化粧品選定）を学ぶ	高齢者への機器の化粧品の正しい 選択ができる。	カウンセリングをスムーズに出来る よう高齢者への機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第6回	ボディカウンセリングシート 作成（化粧品選定）を学ぶ	高齢者への機器の化粧品の正しい 選択ができる。	カウンセリングをスムーズに出来る よう高齢者への機器の注意点、禁忌事項をノートにまとめておく
第7回	ボディカウンセリング ボディ機器（G5）使用方法を学ぶ	ボディカウンセリングを行った上で、 適正なボディマッサージ手技を選択し ボディ機器を正しく使用することができる。	G5の効果・注意点・禁忌事項を教科書 技術編Ⅱを読んで予習しノートに まとめておく
第8回	ボディカウンセリング ボディ機器（G5）使用方法を学ぶ	ボディカウンセリングを行い、ボディ マッサージ手技と正しいボディ機器の 使用方法を習得し、実践できる。	G5の効果・注意点・禁忌事項の不明 点を授業で確認できる準備を行う。
第9回	ボディカウンセリング ボディ機器（G5）使用方法を学ぶ	ボディカウンセリングを行い、ボディ マッサージ手技と正しいボディ機器の 使用方法を習得し、実践できる。	G5の効果・注意点・禁忌事項の不明 点を授業で確認できる準備を行う。
第10回	ボディカウンセリング ボディ機器、 ボディマッサージを学ぶ	ボディカウンセリングを行い、ボディ マッサージ手技と正しいボディ機器の 使用方法を習得し、実践できる。	G5の効果・注意点・禁忌事項を把握 し正しく施術できるよう反復練習する。
第11回	ボディカウンセリング ボディ機器、 ボディマッサージを学ぶ	機器を使った効果と手順、マッ サージの6手技を理解し、正確に 行うことができる。	G5の効果・注意点・禁忌事項を把握 し正しく施術できるよう反復練習する。
第12回	ボディカウンセリング ボディ機器、 ボディマッサージを学ぶ	機器を使った効果と手順、マッ サージの6手技を理解し、正確に 行うことができる。	G5の効果・注意点・禁忌事項を把握 し正しく施術できるよう反復練習する。
第13回	ボディカウンセリング ボディ機器（サクシオン） 使用方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッ サージの6手技を理解し、正確に 行うことができる。	サクシオン効果・注意点・禁忌事項 を教科書技術編Ⅱを読んで予習し ノートにまとめておく
第14回	ボディカウンセリング ボディ機器（サクシオン） 使用方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッ サージの6手技を理解し、正確に 行うことができる。	サクシオン効果・注意点・禁忌事項 を不明点を授業で確認できる準備 を行う。
第15回	ボディカウンセリング ボディ機器（サクシオン） 使用方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッ サージの6手技を理解し、正確に 行うことができる。	サクシオン効果・注意点・禁忌事項 を不明点を授業で確認できる準備 を行う。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	カウンセリングからボディ機器（サクション・G5）を選択方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	サクション効果・注意点・禁忌事項把握し正しく施術できるよう反復練習する。
第17回	カウンセリングからボディ機器（サクション・G5）を選択方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	サクション効果・注意点・禁忌事項把握し正しく施術できるよう反復練習する。
第18回	カウンセリングからボディ機器（サクション・G5）を選択方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	サクション効果・注意点・禁忌事項把握し時間内に正しく施術できるよう反復練習する。
第19回	ボディカウンセリング ボディ機器（低周波） 使用方法を学ぶ	筋肉の付き方を理解し、正確に行うことができる。	全身の筋肉の位置と名称を配布プリントで復習する。
第20回	ボディカウンセリング ボディ機器（低周波） 使用方法を学ぶ	筋肉の付き方を理解し、正確に行うことができる。	全身の筋肉の位置と名称で分からなかったところを復習する。
第21回	ボディカウンセリング ボディ機器（低周波） 使用方法を学ぶ	筋肉の付き方を理解し、正確に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し正しく施術できるよう反復練習する。筋肉の位置と名称を正しく理解しておく
第22回	カウンセリングからボディ機器（サクション・G5・低周波）の選択方法を学ぶ	筋肉に対するパディング方法を理解し、正確に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し正しく施術できるよう反復練習する。筋肉の位置と名称を正しく理解しておく
第23回	カウンセリングからボディ機器（サクション・G5・低周波）の選択方法を学ぶ	筋肉に対するパディング方法を理解し、正確に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し正しく施術できるよう反復練習する。筋肉の位置と名称を正しく理解しておく
第24回	カウンセリングからボディ機器（サクション・G5・低周波）の選択方法を学ぶ	筋肉に対するパディング方法を理解し、正確に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し時間内に正しく施術できるよう反復練習する。
第25回	ボディカウンセリング中のボディチェック方法を知ることによって低周波の迅速なつけ方を学ぶ。	筋肉に対するパディング方法を理解し迅速に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し時間内に正しく施術できるよう反復練習する。
第26回	ボディカウンセリング中のボディチェック方法を知ることによって低周波の迅速なつけ方を学ぶ。	筋肉に対するパディング方法を理解し迅速に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し時間内に正しく施術できるよう反復練習する。
第27回	ボディカウンセリング中のボディチェック方法を知ることによって低周波の迅速なつけ方を学ぶ。	筋肉に対するパディング方法を理解し迅速に行うことができる。	低周波の効果・注意点・禁忌事項把握し時間内に正しく施術できるよう反復練習する。
第28回	ボディカウンセリング ボディ機器（高周波）使用方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	高周波の効果・注意点・禁忌事項を教科書技術編Ⅱを読んで予習しノートにまとめておく
第29回	ボディカウンセリング ボディ機器（高周波）使用方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	高周波の効果・注意点・禁忌事項を正しく時間内に施術できるよう反復練習する
第30回	ボディカウンセリング ボディ機器（高周波）使用方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	高周波の効果・注意点・禁忌事項を正しく時間内に施術できるよう反復練習する

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第31回	ボディカウンセリングによって正しい機器選択方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	高周波の効果・注意点・禁忌事項を正しく時間内に施術できるよう反復練習する
第32回	ボディカウンセリングによって正しい機器選択方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	高周波の効果・注意点・禁忌事項を正しく時間内に施術できるよう反復練習する
第33回	ボディカウンセリングによって正しい機器選択方法を学ぶ	機器を使った効果と手順、マッサージの6手技を理解し、正確に行うことができる。	高周波の効果・注意点・禁忌事項を正しく時間内に施術できるよう反復練習する
第34回	ボディカウンセリングによりボディ機器、ボディマッサージの正しい選択方法を学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行うことができる。	メニュー組み立てを正しく選択し、施術できるよう理論編Ⅰ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を復習する。
第35回	ボディカウンセリングによりボディ機器、ボディマッサージの正しい選択方法を学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行うことができる。	メニュー組み立てを正しく選択し、施術できるよう理論編Ⅰ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を復習する。
第36回	ボディカウンセリングによりボディ機器、ボディマッサージの正しい選択方法を学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行うことができる。	メニュー組み立てを正しく選択し、施術できるよう理論編Ⅰ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を復習する。
第37回	ボディカウンセリングによりボディマッサージでモデルに適した手技選択方法を学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第38回	ボディカウンセリングによりボディマッサージでモデルに適した手技選択方法を学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第39回	ボディカウンセリングによりボディマッサージでモデルに適した手技選択方法を学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行う。6手技を滑らかに行うことができる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第40回	ボディトリートメント後の自宅でのアフターケアについて学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行う。アフターアドバイスまで時間内に終わることができる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第41回	ボディトリートメント後の自宅でのアフターケアについて学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行う。アフターアドバイスまで時間内に終わることができる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第42回	ボディトリートメント後の自宅でのアフターケアについて学ぶ	悩みと原因を理解しメニューの決定選択を正確に行う。アフターアドバイスまで時間内に終わることができる。	使用する基材、機器、施術の注意点について理解し時間内に施術できるよう反復練習を行う。
第43回	ボディ実技試験模擬 (試験対応)	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。自分の問題点を確認し評価することができる。	不得意な個所を不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第44回	ボディ実技試験模擬 (試験対応)	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。自分の問題点を確認し評価することができる。	不得意な個所を不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第45回	ボディ実技試験模擬 (試験対応)	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。自分の問題点を確認し評価することができる。	モデルにあったメニューの構築のために注意点・禁忌事項・アフターケアなどをノートにまとめておく